

GEMBA Note for Business 6

バージョン移行ガイド

第 1 版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoji が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoji に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2021 年 7 月 20 日 ©2021 株式会社 MetaMoji

はじめに

本書では、GEMBA Note for Business 5 から GEMBA Note for Business 6 へ移行する手順を説明しています。

各製品の概要や導入・運用の方法については、管理者ガイドをご覧ください。

表記

名称	表記
GEMBA Note for Business 6	GEMBA Note6 新バージョンのクライアントアプリケーション
GEMBA Note for Business 5	GEMBA Note5 旧バージョンのクライアントアプリケーション
MetaMoJi Enterprise Products 管理ツール	Web管理ツール

画面

クライアントアプリケーションの画面やアイコンは、iOS 版の GEMBA Note for Business 6 のものを使用しています。

目次

1	概要	4
1.1	データの移行	4
1.2	クライアントアプリケーションのバージョン	5
2	バージョンの切り替えとデータの移行	6
2.1	旧バージョンのクライアントアプリケーションからログアウトする	7
2.2	サーバーを新バージョンへ切り替える	8
2.3	クライアントアプリケーションの導入	9
2.4	旧バージョンのクライアントアプリケーションの削除	10

1 概要

新バージョンのクライアントアプリケーションは、旧バージョンのクライアントアプリケーションとは別のアプリケーションです。このため、自動でアップデートされません。

新バージョンに移行するには、本書に記載の手順でクライアントアプリケーションを導入したり、データを移行したりする必要があります。

1.1 データの移行

データの移行は、MetaMoji クラウドを介して行います。

移行可能なデータ

MetaMoji クラウドに保管されているデータは、クライアントアプリケーションで同期をとることにより、移行できます。

移行のタイミング

新バージョンのクライアントアプリケーションで最初にログインしたときに移行が行われます。

※ ユーザーが複数のデバイスを使用している場合も、最初のログイン時に移行が行われます。

1.2 クライアントアプリケーションのバージョン

基本的に1つの法人 ID 内では、すべて同じバージョンのクライアントアプリケーションを使用します。新バージョンのクライアントアプリケーションの使用を開始するには、管理者が Web 管理ツールでサーバーバージョンの移行を行う必要があります。

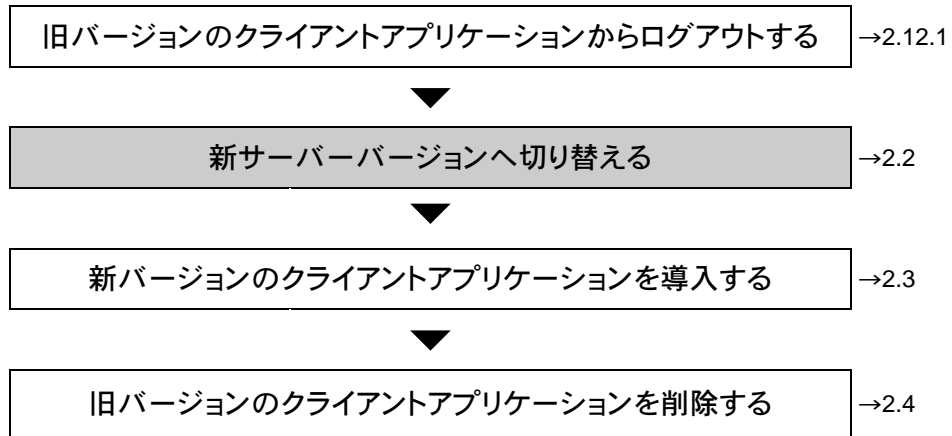
注意：新バージョンのクライアントアプリケーションで開いたノートは、旧バージョンのクライアントアプリケーションで開けなくなります

管理者の移行後、新バージョンのクライアントアプリケーションは、移行したい人から順次導入することは可能です。ただし、新バージョンのクライアントアプリケーションを導入した人が共有フォルダのノートをいちどでも開くと、そのノートを旧バージョンのクライアントアプリケーションで開くことはできなくなるので、注意が必要です。同様に、新バージョンのクライアントアプリケーションで新しく作成したノートも、旧バージョンのクライアントアプリケーションで開くことはできません。

2 バージョンの切り替えとデータの移行

すべてのユーザーが準備作業を完了してから、バージョンの移行を行います。


ユーザーの作業 管理者の作業



2.1 旧バージョンのクライアントアプリケーションからログアウトする

作業者：ユーザー

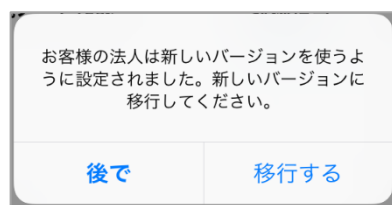
旧バージョンのクライアントアプリケーションにログインしている場合は、データの同期を行うためにログアウトします。

1. 旧バージョンのクライアントアプリケーションを起動していない場合は起動します。
2. 画面右上の  > [ログアウト] を選びます。

注意： 起動したときに、新バージョンへ移行のメッセージが表示された場合

サーバーのバージョンが新バージョンに切り替わっています。

「移行する」をタップして新バージョンへ移行してください。



2.2 サーバーを新バージョンへ切り替える

作業者：管理者

Web 管理ツールでサーバーを新バージョンへ切り替えます。

注意： 切り替え後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します

ただし、移行していないデータが残っている場合は、旧バージョンのアプリケーションを起動すると、新バージョンへ移行するかの確認メッセージが表示されます。

2つ以上前のバージョン（Ver.4 以前）から新バージョンへ切り替える場合

サーバーのアップデートを順番に（途中のバージョンをとばさずに）行ってください。

例）Ver.4 から Ver.6 に移行する場合

サーバーバージョンを Ver.4→Ver.5→Ver.6 の順に上げます。

1. Web ブラウザで次の URL へアクセスします。

<https://mps101.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verup8.html>

※ 「mps101」の部分は [Web 管理ツールにログインが完了した状態の URL] のドメイン名の「.metamoji.com」より前の部分と同じになります。

2. ログイン画面が表示されたときは、Web 管理ツールへのログインと同じ要領でログインします。
3. 画面に表示される内容を確認し、[上記の事項を確認しました] をオンにします。
4. [Ver.6 に移行する] を選択します。
5. 移行を確認するメッセージが表示されるので、[OK]を選択します。

サーバーでバージョンの切り替え処理が行われます。

以降は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

注意： データの移行中はノートの検索機能を利用できません

新バージョンへの切り替えそのものは数秒～1分程度で終了します。ただし、保存されているデータ量によってはデータの移行作業に数日程度かかる場合があります。移行作業中も新バージョンのクライアントアプリケーションは問題なく利用できますが、ノートの検索機能は利用できません。

移行作業中は、Web 管理ツールにログインすると「バージョンアップ処理中です」とのメッセージが表示され、メッセージをクリックすると進行状況の詳細を確認できます。

2.3 クライアントアプリケーションの導入

作業者：ユーザー

新バージョンのクライアントアプリケーションを導入します。導入後は、新バージョンのクライアントアプリケーションにログインすると、旧バージョンのデータがそのまま利用できます。

1. iOS 版では「App Store」、Windows 版では「Microsoft Store」を開き、「metamoji」と入力して検索して表示される一覧から「GEMBA Note for Business 6」を選んでインストールします。下記の QR コードからもアクセスできます。



iOS 版



Windows 版

補足： 「Microsoft Store」の利用が企業内で制限されている場合は、サイドローディングという方法を使うと「Microsoft Store」を介さずに直接コンピューターにインストールできます。詳しくは以下のところをご覧ください。

<https://product.metamoji.com/tool/sideload/>

2. インストールした新バージョンのクライアントアプリケーションにログインします。
旧バージョンと同じ法人 ID・ユーザーID・パスワードでログインします。

ログインや暗証番号の設定が終わると、旧バージョンでアップロードしたデータが、新バージョンで使用できるようになります。

以上でデータの移行は完了です。

注意： データの移行が正しく行われなときは、もう一度旧バージョンのクライアントアプリケーションにログインし、ログアウトします。

2.4 旧バージョンのクライアントアプリケーションの削除

作業者：ユーザー

正しくデータが移行できたことを確認したら、旧バージョンのクライアントアプリケーションを削除します。

※削除方法は、お使いの OS で用意されている方法に従ってください。

注意： 旧バージョンのクライアントアプリケーションを削除すると、MetaMoji クラウドにアップロードされていないデータは削除されます

削除する前に、データの移行が完了したことを確認してください。

新バージョンのクライアントアプリケーションでアップロードしたノートは、旧バージョンのクライアントアプリケーションで開くことはできません。
